

青木ヶ原ふれあい声かけ事業（山梨県鳴沢村・富士河口湖町）

【概 要】

自殺多発地域とされる青木ヶ原樹海における自殺防止を図るため、青木ヶ原樹海周辺を自動車で巡回あるいは沿道を徒歩で周回することにより、来訪者の見守りを行う。自殺企図の疑いがある者を発見した場合には、声をかけ、聞き取りを行う。その中で自殺の意思を明確に確認できた場合には警察に通報し、保護してもらう。巡回については、概ね9時～17時の間、2人1組×2組が365日体制で実施する。

【大綱の分類】

7) 社会全体の自殺リスクを低下させる

【政策パッケージ分類】

重点 6-1) ハイリスク地（関係者によるパトロールや監視カメラの使用）

【事業実施年度】 2020 年度事例（2012 年度～2020 年度）

【事業予算】 20,644,000 円

【利 点】

▼自殺企図者を水際で保護することにより自殺企図の防止、延いては自殺者の減少につながる。

【実施に至るまで】

背景

①本県の発見地に基づく自殺死亡率は減少傾向にあるが、依然として全国のワースト上位に位置する深刻な状況が続いている。また、発見地ベースと住居地ベースの自殺者数の乖離が大きく、特に青木ヶ原樹海を抱える二つの町村についてはその差が大きい。例えば、2019年の住居地ベースの自殺者数が3人であるのに対し、発見地ベースでの自殺者数は37人となっている。青木ヶ原樹海で自殺する者が多数確認される中で、当該ハイリスク地での対策が必要な状況。

具体的な取組内容

- ①毎日、概ね9時～17時の間、本事業専任の会計年度任用職員が2人1組×2組での巡回によって、青木ヶ原樹海来訪者の見守りを行う。服装や持ち物、雰囲気等から自殺企図の可能性があると判断した場合には、声をかけ、聞き取りを行う。聞き取りの中で自殺の意思が確認できた場合には警察に通報し、保護してもらう。
- ②周辺の売店等からも自殺企図の疑いがある者を発見した場合には、情報提供をいただいております。同様に声かけ等の対応を行う。

【成 果】

- ▼2020年度は、両町村で346名に声かけを行い、48名を保護した。
- ▼2012～2019年度までに、両町村で2,359名に声かけを行い、525名を保護した。

【補 足】

- ▼他県から相談窓口が記載されたリーフレット等を提供いただき、警察に保護された者については帰住先のリーフレットを渡し、相談窓口につながるよう努めている。
- ▼2020年度以降は、女性や中高年の男性の来訪が増えている印象がある。

【課 題】

- ▼水際対策を実施してきたところであるが、自殺の名所としてのイメージは根強く、特に県外からの来訪者が後を絶たない。根本的に青木ヶ原樹海への自殺企図を目的とした来訪を減少させるための対策を講じる必要がある。

【事業種別】	ハイリスク地対策
【準備期間】	0 日
【人 数】	6 人
【人口規模】	29,000 人（鳴沢村と富士河口湖町の人口）
【財政規模】	14,749,000,000 円
【自治体負担率】	0%（地域自殺対策強化交付金を活用）
【事業対象】	ハイリスク地来訪者
【支援対象】	ハイリスク地来訪者
【委託の有無】	無し
【実施主体・問合せ先】	鳴沢村福祉保健課 TEL：0555（85）3081 Mail:fukushi@vill.narusawa.lg.jp 富士河口湖町福祉推進課 TEL：0555（72）6028 Mail:fukushi@town.fujikawaguchiko.lg.jp

【参考資料・文献】

1. 地域における自殺の基礎資料（令和元年）